



栃木市国際交流協会だより

2015年3月31日発行

第6号

Tochigi city International Center

国際交流サロン 着物で街歩き・和菓子づくり・抹茶お点前体験



▲職人さん直伝の和菓子づくり



▲お茶の作法を習う



▲人力車にも乗りました



▲横山郷土館の庭園にて

11月30日（日）今年度第3回目の「国際交流サロン」を開催しました。今回は、在住外国人に日本の伝統文化を体験してもらうとともに、地元栃木市の良さも再発見してもらおうと日本文化体験交流会を実施しました。

まずは、「八重桜の会」の皆さんに自分で選んだ絵柄の着物を着付けしてもらい、着物に着替えた後、蔵の街を散策しながら、老舗「山本総本店」の和菓子工房へ。ここでは職人さんのご指導のもと、2品の手作り和菓子（練切）づくりを体験しました。その後は、出来上がった和菓子を持って、巴波川沿いを散策しながら横山郷土館へ。玄関先に用意された人力車に乗って記念撮影をしました。この日は母屋の座敷がお茶会の会場となり、「蔵の街茶友会」の先生から茶道のお作法の説明を聞いたあと、自作の和菓子とお抹茶をおいしくいただきました。横山郷土館の庭園も素晴らしく、参加した皆さん同士で、何枚も写真を撮り合っていました。すべてが初めての体験で、慣れない正座には困りましたが、日本の伝統文化に触れたことは、日本滞在のすばらしい思い出となったと大満足の様子でした。

この日本文化体験交流会は、大きな反響がありましたので、来年度も継続して行なう予定です。

第10回日本語スピーチコンテスト開催 ▶▶▶

2月8日（日）栃木市役所市議会議場において、第10回目となる在住外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました。今年度も国際ソロプチミスト栃木との共催で行いました。

今年特出すべきことは、栃木市議会のご理解とご協力を得て、初めて議場をコンテスト会場として使用したことです。スピーチ発表者には今までより緊張が強いられましたが、大学生、専門学校生、技能実習生などベトナム、タイ、ネパール、ミャンマー等の国から18名が出場し、誰もが練習の成果がわかる流暢なスピーチを行いました。審査の結果、特別賞の数を増やすなどして、5名の上位入賞者が決まりました。参加者全員には参加賞が配られました。

＜上位入賞者＞

（敬称略）

◆最優秀賞

オーラック メヘナズ（イラン）専門学校生
「おしんとイラン」

◆国際ソロプチミスト賞

グエン ティ ホン ヴァン（ベトナム）技能実習生
「チャンスを生かす」

◆優秀賞

パナギトン ハナ（フィリピン）専門学校生
「見た目で判断しないで」

◆特別賞

ネウパネ カピル（ネパール）日本語学校生
「私の夢」
おう うひ 王 宇飛（中国）大学生
「日本での生活」



▲最優秀賞のメヘナズさん



▲広々とした議場で発表！



▲審査の合間の琴の演奏



▲出場者全員で記念撮影

コンテスト終了後は、出場者や応援の方々などが参加して交流会を行いました。交流会の中では、とち介グッズなどが当たるくじ引きが行われ、会場みんなが一つになって大いに盛り上がりました。会に携わった協会のスタッフもオール栃木のメンバーで、初めて全員で大きな事業を成し遂げることができました。反省点は次回の参考にし、更によりスピーチコンテストを目指していきたいと思います。

世界の料理交流会開催

今年度の世界の料理交流会は、下記のとおり2回行いました。

「ネパール料理編」

メニュー：チキンカレー、ダルスープ、ポテトサラダ、チャ（ミルクティー）

講師：山下 しのぶさん ビャンジュ スディッパさん

日にち：3月1日（日）

場所：大平町ゆうゆうプラザ調理室

参加者：20名



▲参加者同士の交流も深まりました

*どの料理にも玉ねぎとクミンを使いますが、日本人の味覚にも馴染むヘルシーな料理でした。

「ブラジル料理編」

メニュー：ロカンボレ カルネ モイダ（ひき肉ロール）、ニョッキ デ バタタ、
プジン デ レイテ コンデンサド

講師：^{ゆくもと}行本 リジアさん

日にち：3月15日（日）

場所：吹上公民館 調理室

参加者：20名



▲大切な家族のために愛情を込めて…

*多民族国家ブラジルらしく、ニョッキなどのイタリア料理もブラジル風にアレンジされてきたそうです。日本でも日常的に手に入る食材で作れる料理を教えてくださいました。とてもおいしくて、また家でも作りたいという気持ちになりました。

とちぎインターナショナルまつり開催▶▶▶

3月29日（日）大平町ゆうゆうプラザのふれあい広場にて、「とちぎインターナショナルまつり」を開催しました。昨年度まで栃木地域と都賀西方地域でそれぞれ「国際交流のつどい」として行なっていたものを、オール栃木の事業として名称を変えて一本化し、日本人と外国人がお互いに交流できる場を提供しました。会場が新しくなり、その周知に不安がありましたが、当日は天候にも恵まれ、約450名の参加がありました。

世界の料理のブースでは、中国、韓国、トルコ、ペルー、フィリピン、ブラジル、ネパール、ハワイ、インドネシア、エジプトなどの特色ある食べ物が出店し、ステージでは、和太鼓に始まり、中国の二胡と日本の琴の演奏、フォークダンス、タヒチアダンス、韓国の太鼓、ベリーダンス、バンブーダンス、ペルーの舞踊、南米フォルクローレ、タイの民族舞踊、アフリカダンス、カポエイラ、ペルーの伝統音楽、サンバと多種多彩なアトラクションが繰り広げられました。



▲人気のブースの前には行列が…



▲オープニングにて大島会長あいさつ

特別ゲストとして栃木市のマスコットキャラクター「とち介」も登場！大いに会場を盛り上げてくれました。とち介は外国人の皆さんの間でも人気で、アトラクションの合間にとち介と写真を撮りたい人たちの長い行列もできました。

観客席は、オープニングから最後のサンバまでずっと満席で、出演者に大きな声援を送っていました。

また、栃木市教育委員会の英語指導助手（ALT）の皆さんのブースは、フェイスペインティングやゲームのコーナーで、たくさん子どもたちや英語を話したい人たちにぎわっていました。顔にカラフルなペイントをしてもらった人たちが会場内で多く見られました。

今年はオール栃木で盛り上げようと実行委員会も立ち上げました。各地域委員会のボランティアの皆さん、関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。皆様のご協力に感謝申し上げます。また次回お会いしましょう！



▲とち介との撮影にも長い行列ができました



▲子どもたちに人気だったALTコーナー



▲初出場のタヒチアダンス



▲観客席は朝からずっと満席でした



▲外国人の観衆も大勢集まりました



▲格闘技とダンスの中間、ブラジルのカポエイラ



▲とても楽しかったです!!



▲外国人に人気のペルー料理店

外国人対象説明会

日頃の外国人相談窓口の中で、相談件数が多いものは、税金や国民健康保険税の支払いについてです。今回は、昨年度に引き続き、確定申告の時期に合わせて、2月1日（日）に入舟庁舎大会議室にて、外国人を対象とした平成26年度分の確定申告について説明会を行いました。

なぜ外国人が確定申告をするかという、海外に扶養している親族がいると、所得税が控除されるからです。しかし、近年は親族であることの確認が厳しくなってきました。参加者は、今回の説明を聞いて、初めて確定申告の重要さがわかったと話していました。

なお、集まった人たちが自由に情報交換ができる雰囲気を作ろうと、説明会終了後、手打ちそばを振舞うサロンの形式で行いました。

外国人の皆さんにも正しい情報の伝達ができるように、今後も説明会を開催していきます。

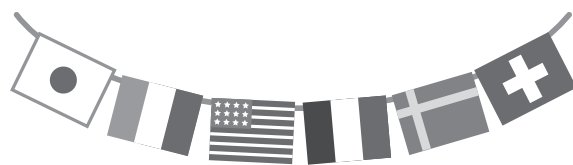


▲税の仕組みについて説明をききました

競技終了後はテントに戻り、大平藤岡岩舟地域委員会の皆さんが用意してくれたから揚げや海苔巻きの昼食を味わい、お互いに交流を深めました。



これからも地域の皆さんとの連携を大切にしていきたいと思います。



この日は朝から晴天に恵まれ、行きも帰りもバスの車窓からは富士山の雄姿がずっと見えていました。特に、三保の松原からの海岸越しと、清水湾で遊覧船上からの雲ひとつかかっていない「富士山」というイメージそのままの美しい姿を見ることができました。このめったにない幸運にめぐり合わせたことへの喜びで大満足の旅となりました。



入舟庁舎——栃木IC——清水IC——
三保の松原観光——エスパルス
ドリームプラザ 昼食＆買い物——
一日の出棧橋 清水湾バイクルー
ズ（富士山を一望）——清水IC——
栃木IC——入舟庁舎





望月 ケニアさん（ホンジュラス出身）

▲福島県湯野上温泉駅構内にて…
自分でとても気に入っている写真です



ホンジュラス共和国 (Republic of Honduras)

人口 約810万人 (2013年)

言語 スペイン語

日本との時差 15時間

コパンのマヤ遺跡(世界遺産)、コーヒーが有名です。



私の名前は、望月ケニアです。17年前に、中米のホンジュラスから来ました。

日本に来たきっかけは、ホンジュラスで学生時代に日本人の男性と知り合い、お互いに気持ちが惹かれあうようになったからです。4年近くの交際を経て、1998年6月にホンジュラスで結婚式を挙げました。その後、日本での暮らしが始まりました。

最初は、主人の実家（栃木市大平町）で生活が始まりましたが、主人の両親はとても優しく、日本のしきたりや日本料理などを教えてくれました。特に、主人のお母さんは、料理がとても上手です。私は、いつか同じ料理を作りたいと思いました。

これは、主人のお母さんと料理を作っていた時の出来事です。「お母さん、この人間、何分茹でるんですか?」、お母さんは「ええー!」と、私の顔を見て、「ケニア、私を茹でるの?」と驚きました。私が言いたかったのは、「インゲンを何分茹でるんですか?」ということでした。それ以来、「インゲン」という言葉を間違えないようにしっかりと覚えました。

そして、日本語をもっと上手になりたいという思いがあったため、2001年から2003年まで、日本語学校へ通いながら、都賀町立合戦場小学校の学習支援員として、3年間働きました。その後、1年間、大平町立大平中学校で、生活支援員として勤務しました。

また、ホンジュラスでは、国立自治大学の医学部で4年間勉強していましたが、日本に来ることになり、卒業はできませんでした。日本に来てからも、母国で勉強したことを生かせないかとずっと思っていました。そして、やっぱり日本の大学でも勉強がしたいと、2009年、『日本女子大学家政学部食物学科』に入学し、少し回り道をしましたが、今年の秋に卒業する予定です。

この17年間は、家族、友達、職場の仲間の激励やサポートをいただき、お陰様で日本での暮らしはとても充実したものになっています。

これからも、栃木市だけに限らず日本中に、ホンジュラスの文化や暮らし等を伝えていけたらと思っています。

新規会員登録！

協会事業は、会員の皆様のご支援とご協力により運営されています。

ぜひ、趣旨にご賛同いただける方は、会員にご加入ください。

- | | | |
|-------------|----|---------|
| (1) 団体・法人会員 | 年額 | 10,000円 |
| (2) 個人会員 | 年額 | 2,000円 |
| (3) 家族会員 | 年額 | 3,000円 |

＜会員の特典＞

- ☆ 協会各種講座の参加費割引
- ☆ 協会発行の定期刊行物等の提供
- ☆ 市内旅行会社の企画商品の割引（3%）
- ☆ 翻訳、通訳手数料の割引など

※会員になるとTICオリジナルファイルを差し上げます。

在住外国人相談窓口

スペイン語の相談員が対応しています！

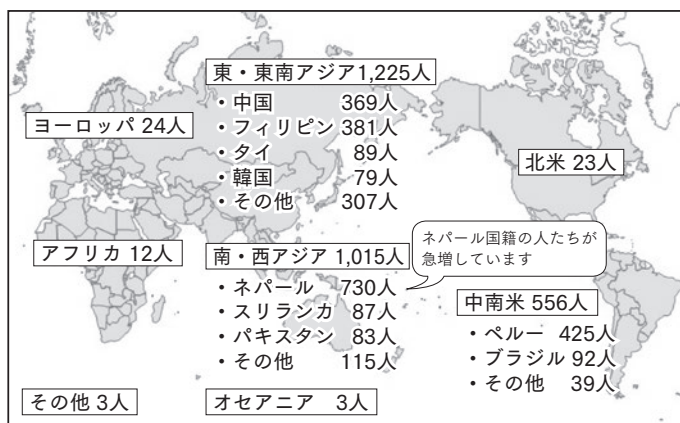
- | | | |
|--------------------------------|-------------------|------------|
| ☐ 毎週火曜日 | 栃木市役所市民生活課外国人登録窓口 | 8：30～17：15 |
| ☐ 毎週木曜日 | 栃木市国際交流協会外国人相談窓口 | 8：30～17：15 |

8

栃木市国際交流協会だより 第6号

栃木市外国人登録者数

2015年3月末現在



H27.3.31現在	男	女	合 計
外国籍 (栃木市全体)	1,510人	1,353人	2,863人
栃木地域	800人	752人	1,552人
大平地域	486人	377人	863人
藤岡地域	58人	48人	106人
都賀地域	87人	87人	174人
西方地域	5人	19人	24人
岩舟地域	74人	70人	144人
栃木市全人口	81,177人	82,588人	163,765人

発行

栃木市国際交流協会（TIC）
 〒328-0016
 栃木市入舟町 15 番 5 号 栃木市役所入舟庁舎
 TEL：0282-25-3792 FAX：0282-25-3928
 E-mail：info@tic-tochigi.jp URL：http://www.tic-tochigi.jp